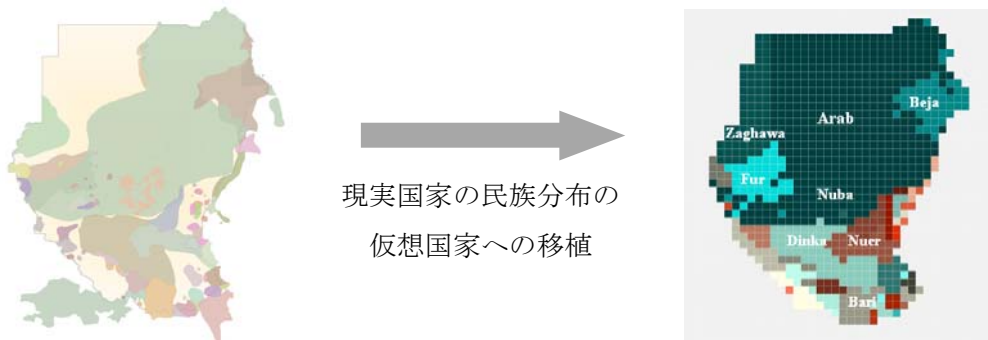


統合と分裂、紛争と平和 「アフリカの角」をシミュレートする 阪本 拓人（東京大学）

世界には、単一の政府のもとにまとまっている国もあれば、複数の勢力間で統治がさまざまに分裂している国も存在する。本発表では、マルチエージェント・シミュレーション (MAS) を用いて、コンピュータのなかに構築した仮想的国家において、領域統治の統合・分裂の多様な動態を再現し分析する試みを紹介する。

MAS を用いた既存の多くの「人工国家」モデルと違い、本研究の最大の特徴は、現実国家の空間データを地理情報システム (GIS) の技法に依拠して活用することで、コンピュータのなかの仮想世界と現実世界との間に密接な対応付けを図っている点である (下図参照)。



このような現実国家を模した仮想国家において、政府およびその統治を覆そうとする多数の潜在的な反政府組織の存在を想定する。仮想国家の領域と住民に対する統治の占有をめぐってこれら組織が展開する軍事的・政治的競合の結果、領域統治がさまざまな形で統合・分裂していく。

本研究では、実際に、このようなシミュレーションを、「アフリカの角」諸国 (エチオピア・エリトリア、ソマリア、スーダン) およびケニアを模した仮想国家において行った。その結果、これらの国々において現実に観察された領域統治のあり様を特徴的に捉えた統合・分裂の動態が、対応する仮想国家の中においても出現しうることが明らかにされた (下図参照)。発表では、こうした結果がデモを交えて紹介される。

